

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和2年8月

長い梅雨が終わり、熱中症の心配もしなくてはならない夏本番の時期となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？さっそくNewsletter 第30回配信です！どうぞお楽しみください。

〈 診療科紹介 乳腺科 〉

今回は乳腺科の紹介をさせていただきます。

当科は消化器一般移植外科学講座の一部門となります。名前のおり対象臓器は乳腺と限られてはいますが、良性疾患から悪性疾患まですべての乳腺診療を行っています。

メインの疾患はやはり乳癌で年間250例以上の新規乳癌患者様が来院されます。

全国がん登録のがん罹患データでは2017年92253例（男性648例）の新規乳癌患者が報告されています。女性部位別罹患数では乳房が第1位でかつ年々罹患数が増えている疾患です。年代別では40代60代にピークがあり他癌に比べると若年の患者様が多い疾患でもあります。そして、術後5年以上経過しても再発する患者様がいるため、長期の補助治療および経過観察が必要な疾患でもあります。

私達は診断（超音波検査、マンモグラフィーなどの画像診断、針生検などの組織学的検査）、手術、薬物療法（補助治療、再発治療）、終末期医療を他科の協力を得ながら行っています。一連の乳癌診療を系統的に経験できる施設です。

また乳癌学会の認定施設でもあり乳癌学会専門医取得が可能な施設です。

乳癌診療にご興味のあるかたは是非ご連絡ください。メールなどでの質問にもお返事させていただきます

連絡先 乳腺科 櫻木 masako@omiya.jichi.ac.jp
原尾 miharao@jichi.ac.jp



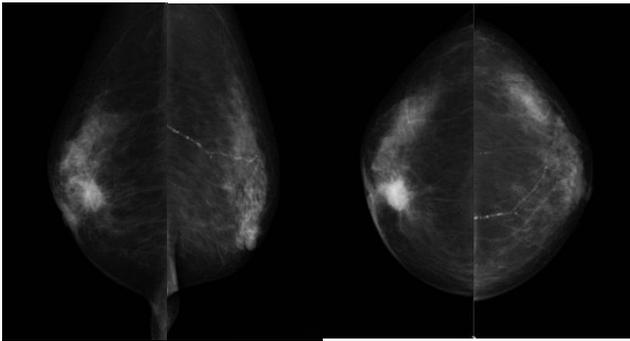
【医師国家試験予想問題】

- 1 乳房腫瘍の診察として適切なのはどれか。2つ選べ。
- a 月経の直前に行う。
 - b 坐位で触診を行う。
 - c 腋窩の診察は上肢を挙上して行う。
 - d 乳頭分泌の診察は乳輪下を圧迫して行う。
 - e 両手指による触診でえくぼ徴候を確認する。

正 解： d、e

解 説：月経直前は乳房が腫大し腫瘍が触知しにくく疼痛を伴うこともあるため可能であれば月経後の方がのぞましい。腋窩の診察は上肢をおろして行います。触診は手指を用いて行い、手掌ではおこないません。触診は坐位臥位ともに上肢を挙上して行います。坐位のみでの触診では尾側の乳腺の触診が不十分になることがあります。

- 2 75歳の女性。右乳房のしこりを主訴に来院した。右12時方向に3cmの腫瘍を触知する。腫瘍は円形、弾性硬で乳頭分泌は認めない。マンモグラフィを示す。



次に行う検査はどれか。2つ選べ。

- a 乳腺超音波
- b 経皮的針生検
- c 骨シンチグラフィ
- d 穿刺吸引細胞診
- e 腫瘍マーカー測定

正 解： a、b

解 説：マンモグラフィでは spicula を伴う高濃度腫瘍を認め乳癌を強く考えますが、確定診断および biology の評価目的に超音波検査で存在診断を行い、そのまま経皮的針生検を行い確定診断を行います。穿刺吸引細胞診のみでの確定診断は推奨されません。